

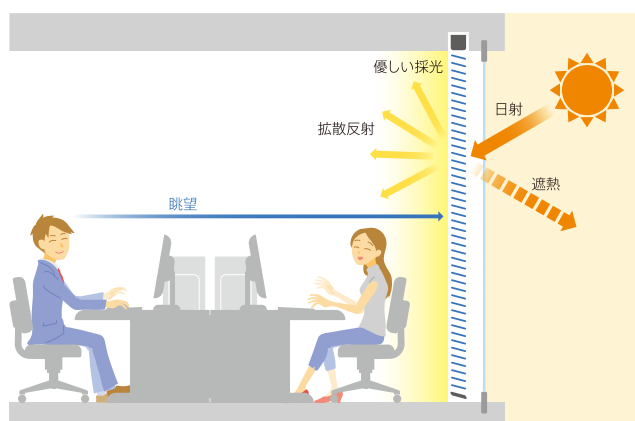
ノングレア遮熱スラット

(特許出願中)

「ノングレア遮熱スラット」は、スラット表面に凹凸を形成するグレア抑制塗料により、全角度の入射に対し拡散反射を高めることで昼光を採り入れながらもスラットに反射する不快なまぶしさ(グレア)を抑制します。落ち着いたマット調の質感は、オフィスに溶け込むだけでなく、スラット周辺の光を拡散し優しい明るさを演出。同色系でセレクトできるため陽差しの強い窓面にはノングレア遮熱スラット、それ以外は遮熱ベーシックスラットなど、日射環境に応じてお選びいただけます。

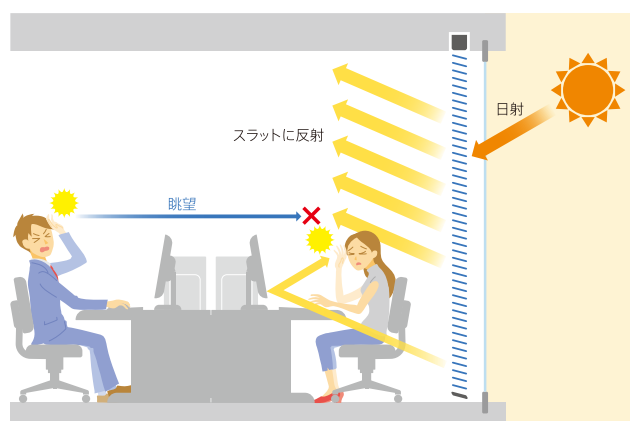
■ ノングレア遮熱スラットの特長

ノングレア遮熱スラット



昼光を効果的に採り入れながら、スラットに反射する不快なまぶしさを抑制し、眺望を確保できます。スラット周辺は光の拡散効果で優しい明るさを演出。

一般的なスラット



昼光を効果的に採り入れようとしたり、眺望を確保しようとしたりすると、スラットに日射が強く反射してまぶしい。

■ 価格

ベーシックスラットの**10%アップ***となります。 ※一部機種は異なります。詳しくは中面「適応機種一覧」をご参照ください。

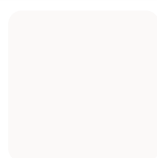
■ スラットカラーラインアップ

対応スラット幅: 25mm、35mm

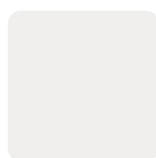
※カラーは印刷のため、
現物と異なる場合があります。



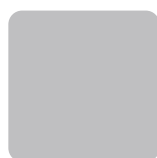
V1911
ラフクールホワイト



V1912
ラフスモークホワイト



V1913
ラフソフトグレイ

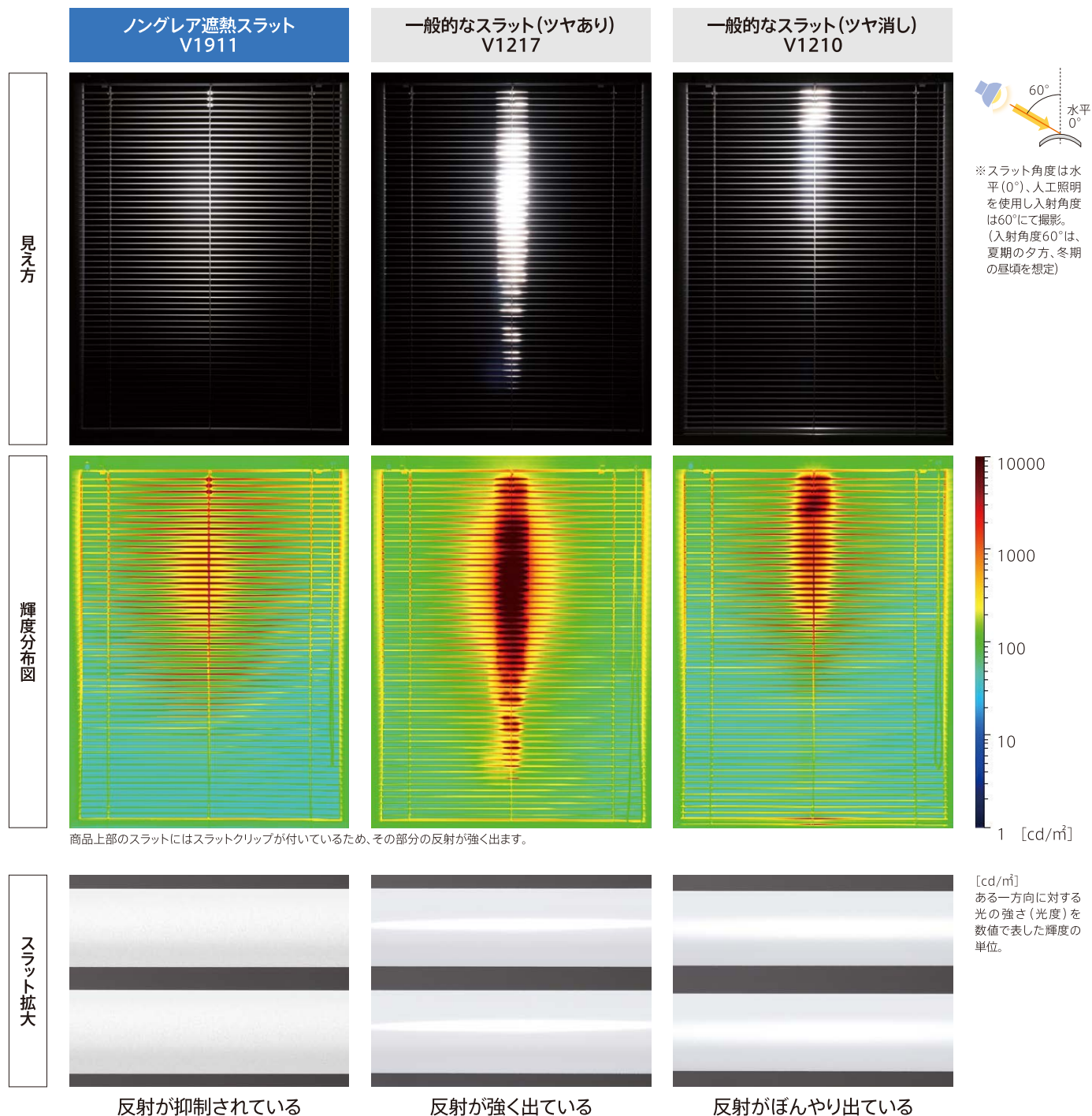


V1914
ラフストームグレイ



V1915
ラフチャコールグレイ

■ ノングレア遮熱スラットと一般的なスラットの比較 (ユニコングランツ25の場合)



ノングレア遮熱スラットは、拡散反射により不快なまぶしさが抑制されています。
一般的なスラットは、直接的な反射によりまぶしさが出ていて、ツヤありの場合は反射が強く出ます。



ノングレア遮熱スラット V1911



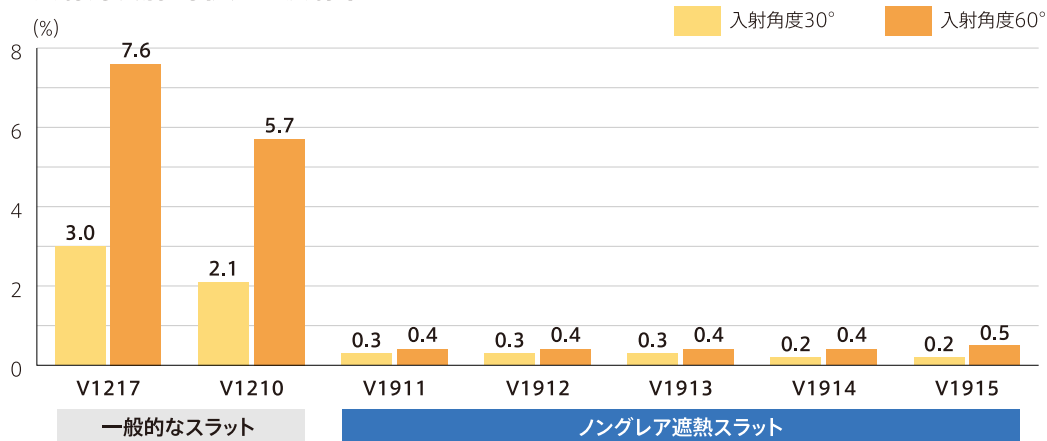
一般的なスラット V1210

【ご注意】

ノングレア遮熱スラットは、拡散反射をする特性上、全閉の場合でも一般的なスラットに比べてスラット間がぼんやりと明るく見える場合があります。
また、使用状況によっては、明暗差によりぼらつきがあるように見える場合があります。

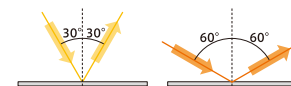
機能データ

●入射角度別 可視光正反射率グラフ



一般的なスラットと異なり、入射角度の違いによる可視光の反射率に差がほとんどありません。

[算出条件] 分光光度計を用いたV-N法によるスラット単体の正反射の絶対反射率測定。偏光子を用い、S偏光・P偏光それぞれの反射率を測定した平均値。入射角度は30°と60°の2通り。



●光学特性およびグリーン購入法適合区分

カラーNo.	日射反射率 (%)	可視光反射率 (%)	赤外線反射率 (%)	グリーン購入法適合区分	カラーNo.	日射反射率 (%)	可視光反射率 (%)	赤外線反射率 (%)	グリーン購入法適合区分
V1911	71.7	76.1	73.5	3	V1914	57.4	39.1	72.1	1
V1912	68.8	70.9	71.7	3	V1915	45.1	16.1	69.0	1
V1913	65.0	64.1	70.6	3					

光学特性算出条件、グリーン購入法については、裏面をご確認ください。

●熱的性能値

商品名	スラット種類	カラーNo.	色名	日射熱取得率(η) [—]			日射遮蔽係数(SC) [—]			熱貫流率(U) [W/m ² ·K]
				全閉	45°	0°	全閉	45°	0°	全閉
ユニコンモア25	一般的なスラット	V1217	クールホワイト	0.39	0.56	0.76	0.44	0.64	0.87	4.3
		V1210	マットクールホワイト	0.39	0.56	0.76	0.45	0.64	0.87	
	ノングレア遮熱スラット	V1911	ラフクールホワイト	0.40	0.59	0.76	0.45	0.67	0.87	4.3
		V1912	ラフスモークホワイト	0.42	0.56	0.76	0.47	0.64	0.86	
		V1913	ラフソフトグレイ	0.44	0.58	0.76	0.50	0.65	0.87	
		V1914	ラフストームグレイ	0.49	0.67	0.77	0.56	0.76	0.88	
		V1915	ラフチャコールグレイ	0.57	0.62	0.77	0.64	0.71	0.87	

[日射熱取得率算出条件] JIS A 2103「窓及びドアの熱性能・日射熱取得率の計算」に準拠し、透明単板ガラス (FL10) とユニコンモア25を組み合わせた際の日射熱取得率を算出。日射条件…スラット全閉・45°は夏期条件、スラット0°は冬期条件。

[熱貫流率算出条件] JIS A 4710「建具の断熱性能試験法」に準拠し算出した熱貫流率を基に、透明単板ガラス (FL10) とユニコンモア25 (全閉) を組み合わせた際の熱貫流率を算出。

※値は実測値に基づく計算値を代表的な数値にて示したもので、各商品の性能を保証するものではありません。